Panasonic®

要保管

フル2線式リモコン
パターン・グループ設定器Plus

品番 WRT 9610

取扱説明書



付属品

- ●取扱説明書(本書)…1冊
- ●ストラップ …… 1本
- ●収納袋……1コ
- ●フル2線信号線 ……1本

施工店様へのお願い

●ご採用ありがとうございました。この説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。また、その後いつでも必要なときにご覧になれるように身近な場所に、必ず大切に保管しておいてください。

●万一、説明書にしたがわず使用された場合の損害については、責任を負い兼ねることがあります。

商品概要

本器は、フル2線システム上で**スイッチと照明のネットワークを構築するための基本**となるスイッチ･T/Uへの**「アドレス設定」**、複数照明を一つのスイッチで一括制御するための**「パターン･グループ設定」**を行うことができます。

1 アドレス設定

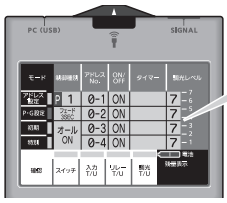
本器の赤外通信機能でスイッチ･T/Uへの
アドレス設定が可能



2 パターン・グループ設定

本器、もしくは専用PCアプリを使ってパターン･グループ設定の編集が可能
専用PCアプリをご使用の場合は、編集後に本器とパソコンをUSBケーブル（市販）で接続し、パターン･グループ設定を本器に書き込む必要があります。
（PCアプリでの編集については、PCアプリの操作マニュアルを参照）

■設定の編集

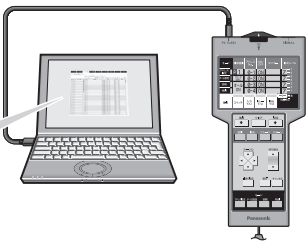


本器

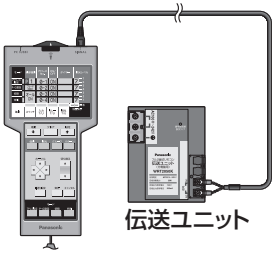
または

専用のPCアプリ

USBケーブル（市販）



■伝送ユニットへの書き込み



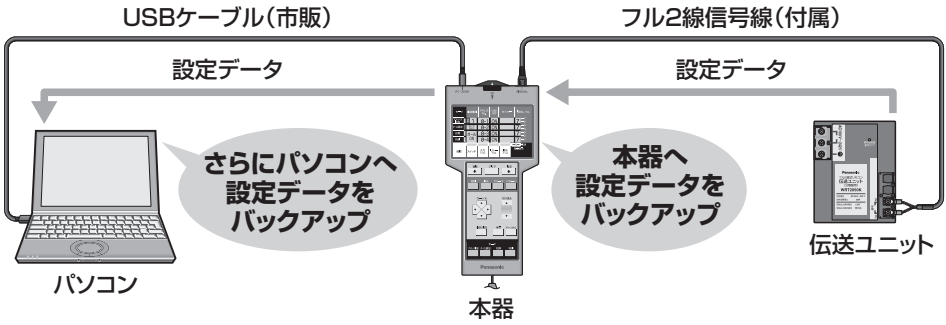
フル2線信号線
（付属）

伝送ユニット

また、伝送ユニットに記憶されたパターン･グループ設定を**「バックアップ機能」**で本器、またはパソコンに保存することができます。

3 バックアップ機能

伝送ユニットに記憶されたパターン･グループ設定は本器にバックアップ可能
さらにUSBケーブル（市販）で本器とパソコンを接続し、専用のPCアプリを使うと、パソコンへのバックアップも可能
（パソコンへのバックアップについては、PCアプリの操作マニュアルを参照）



●PCアプリやアプリの操作マニュアルについてはこちらから
→https://www2.panasonic.biz/jp/densetsu/bs/lighting_control/full2/lineup/setting-plus/

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です。)

	してはいけない内容です。		実行しなければならない内容です。

⚠注意	
 禁止	**フル2線信号線をパソコンなどのLANコネクタへ接続しない。** 付属のフル2線信号線は、パターン・グループ設定器専用ケーブルになります。
	指定の機器以外では使用しない。 発火・火災・故障の原因になります。
	フル2線信号接続部には、フル2線信号以外を接続しない。 発火・火災・故障の原因になります。
	屋外および水がかかる場所では使用しない。 発煙・発火・故障の原因になります。
	USB接続部およびフル2線信号接続部に異物が付着・堆積した状態で使用しない。 発煙・発火・故障の原因になります。
 必ず守る	**乾電池は、アルカリ単三電池を使用する。** ほかの電池を使用すると、発火・火災・故障の原因になります。
	乾電池を交換する際は、4本とも新しい乾電池と交換する。 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用すると、乾電池の破裂や液漏れの原因となります。
 分解禁止	**修理や分解・改造はしない。** 感電や発火・火災・故障の原因になります。

使用上のご注意

乾電池に関して	●アドレス設定およびバックライト点灯にはアルカリ乾電池〔市販〕が必要です。 ●乾電池は早めに交換してください。電池残量が少なくなると正しく設定できなくなります。 ●長時間使用しないときは、本器の電源スイッチをOFFにしてください。
停電に関して	●乾電池を入れないで使用すると、フル2線信号や商用電源が瞬時停電した場合、編集中のデータが消えたり操作が無効になる場合があります。
赤外通信機能に関して	●太陽光など強い光が当たる場所では正しく通信できない場合があります。 (受発光部とスイッチ・T/Uの送受信部を手で覆うなどしてください。)
ストラップについて	●本器の落下による故障や事故を防ぐため、ストラップを手首に通した状態で操作してください。落下による故障は保証の対象外となります。
お手入れに関して	●本器の汚れは、乾いた布でふき取ってください。 シンナーなどを使用すると、変色したり表面の光沢が損なわれる場合があります。

もくじ

商品概要 ……1〜2
安全上のご注意 ……3
使用上のご注意 ……3
もくじ ……4
本器の機能一覧 ……5〜6
各部のなまえとはたらき 電池の入れ方/ ストラップの取り付け方 ……7〜8
設定の前に施工のご確認 ……9
制御方式について ……10

モード
アドレス
設定

アドレス設定の流れ ……11〜12
アドレスNo.の確認・設定時のご注意 ……13
アドレスNo.の確認方法 ……14
設定事例
A スイッチに個別またはグループ機能をもたせて、アドレスNo.・タイマーなどを設定する場合 ……15
B スイッチにパターン機能をもたせて、アドレスNo.を設定する場合 ……16
C 調光スイッチにアドレスNo.・タイマーを設定する場合 ……17
D 電動機器用スイッチ・T/UなどにアドレスNo.を設定する場合 ……18

モード
パターン・
グループ
設定

パターン・グループ(P・G)設定の流れ ……19〜20
パターン・グループ(P・G)設定モードの立ち上げ ……21〜22
パターン・グループ制御内容の設定および変更方法 ……23〜24
パターン・グループ制御内容の編集(変更)手順 ……25〜28

モード
初期設定

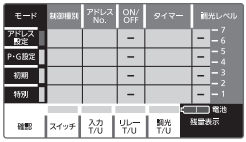
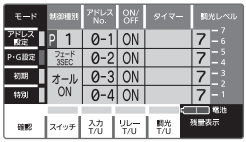
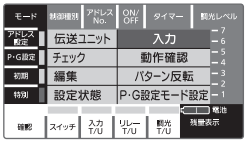
初期設定モードの立ち上げ ……29
各項目の設定 ……30
操作音の設定 / 電源切断時間の設定 / 伝送ユニットの設定 / 端末数変化監視の設定

モード
特別設定

特別設定モードの立ち上げ ……31
各項目の設定 伝送ユニット / チェック / 編集 / 設定状態 ……32〜36

エラー表示について ……37〜38
定　格・仕　様 ……38

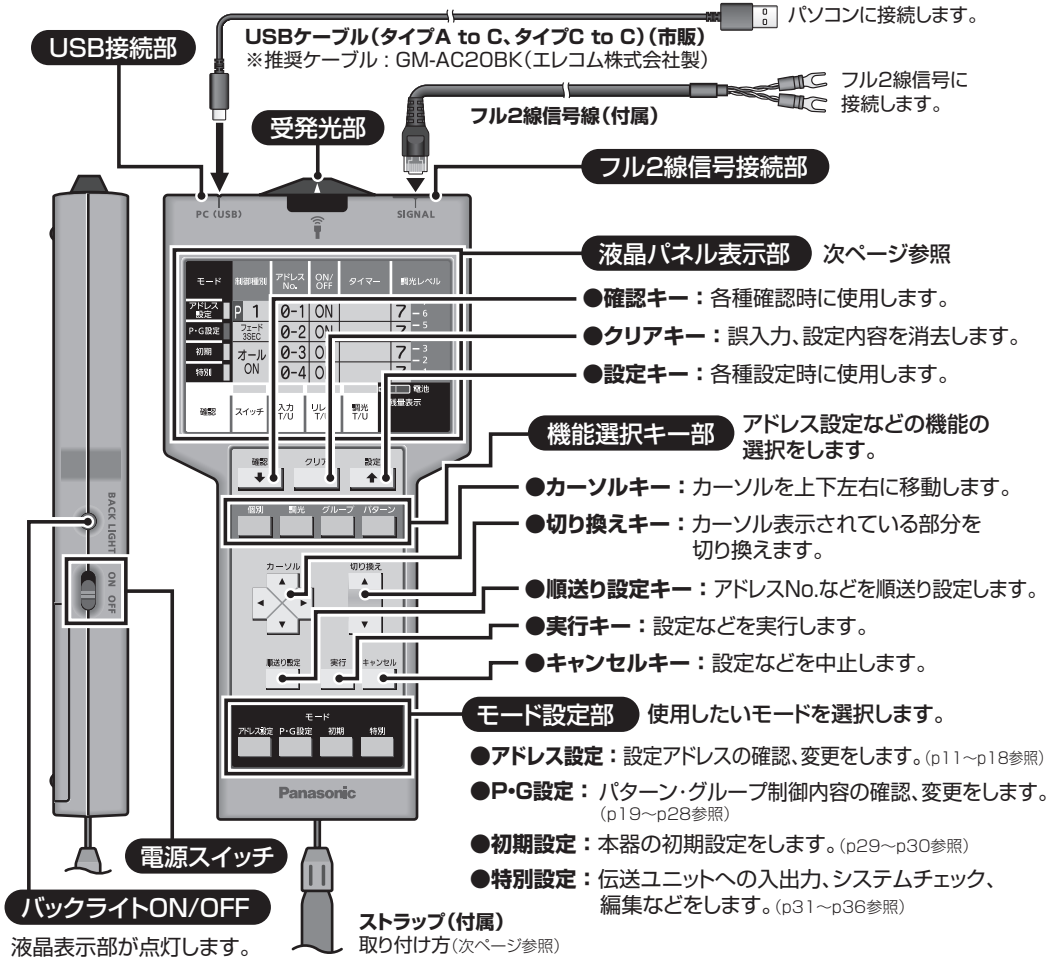
本器の機能一覧

モード			
アドレス設定	 〈アドレス設定モード初期画面〉	**スイッチ・T/Uの機能**と**アド**	
P・G設定 (パターン・グループ設定)	 〈P・G設定モード初期画面〉	システムの**パターン・グルー**	
初期設定	 〈初期設定モード初期画面〉	操　作　音	
		電源切断時間	
		伝送ユニット	
		端末数変化監視	
特別設定	 〈特別設定モード初期画面〉	伝送ユニット	入　力
			出　力
			照　合
		チェック	動作確認
			システム状態表示
			端末登録P・G表示
			空き端末表示
		編　集	パターン反転
			コピー
			オール消去
			範　囲
			レベルモード
		設定状態	P・G設定モード設定
			P・G設定内容一覧
			空きP・G表示
			PC接続

注 電源スイッチを入れると「P·G設定モードの画面」が立ち上がります。
他のモードをご使用の場合は、モードを切り換えてください。

機　能
レスNo.の確認・設定（p11～p18参照）
プの制御内容の確認・設定（p19～p28参照）
本器の操作音の〔あり / なし〕を設定（p29・p30参照）
オートパワーオフ機能 本器の無操作時の電源切断時間〔なし / 5分 / 10分〕を設定（p29・p30参照）
接続する伝送ユニットを設定（p29・p30参照）
システムに接続されている端末数が変化したときに確認メッセージを表示（p29·p30参照）
伝送ユニットからパターン・グループ制御内容を本器に入力（p31・p32参照）
本器のパターン・グループ制御内容を伝送ユニットへ出力（p31・p32参照）
本器と伝送ユニットのパターン・グループ制御内容を照合（p31・p32参照）
本器よりフル2線システムを制御（p31・p33参照）
フル2線システムの状態を表示（p31・p33参照）
選択した端末器の登録されているパターン・グループ番号を表示（p31・p33参照）
システムの空き端末(アドレス)を表示（p31・p33参照）
パターン制御内容を反転（p31・p34参照）
パターン・グループ制御内容を他のパターン・グループにコピー（p31・p34参照）
パターン・グループ制御内容を選択範囲ごとに消去（p31・p34参照）
パターン・グループ制御内容を選択範囲ごとに一括編集（p31・p34参照）
調光レベルの分解能〔7レベル/128レベル〕を設定（p31・p34参照）
フル2線システムの状態を切り換え（p31・p35・p36参照）
選択したパターン・グループ制御内容を一覧で表示（p31・p35・p36参照）
使用されていないパターン・グループ番号を表示（p31・p35・p36参照）
本器とパソコン間で通信を行うためのモード（p31・p35・p36参照）

各部のなまえとはたらき



- ●本器の電源スイッチを入れると**初期画面は「P・G設定モードの画面」**が立ち上がります。使用する機能(p5・p6参照)により**「モード設定部」**のキー操作で切り換えてください。
- ●信号線を接続すると自動的に、電源の供給が電池から信号線に切り換わります。
  ※電源の給電が信号線のみの場合は、バックライト機能、赤外線通信機能は使用できません。
- ●信号線のみの給電時(電池非装着時)に電源をOFFにすると、「電池がなくなりました」と表示されることがありますが、機能・性能・安全性への影響はありません。
- ●本器に設定されている伝送ユニットと異なる伝送ユニットを接続した場合、「別伝送ユニットデータがあります」と表示されます。変更または消去を実行してください。
- ●キー操作がなくなれば一定時間後に自動的に電源OFFとなります。
  ※初期設定モードで「一定時間」の設定ができます。再度電源ONにする場合は電源スイッチを操作してください。
- ●キー操作時、発信音がします。操作エラーのときは"ピッピッピッピッ"というエラー音に変わります。
  ※初期設定モードで操作音の「あり/なし」が設定できます。(p30参照)
- ●設定した内容または伝送ユニットから本器へ入力したパターン・グループ制御内容は、電源をOFFにしても消去されません。

液晶パネル表示部

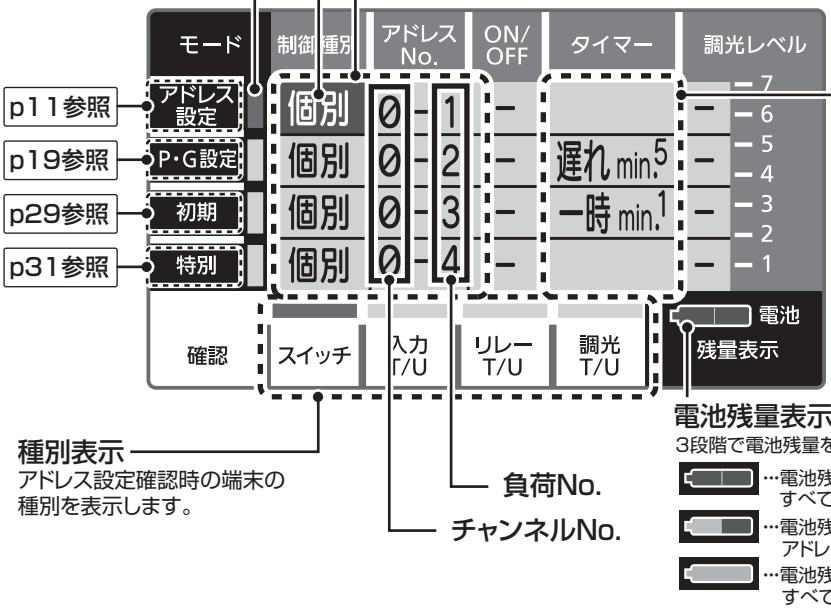
選択されたモードにより、各々の初期画面および設定画面が表示されます。

〔例:アドレス設定画面〕

カーソル（カーソル キーで移動します。）
表示されている機能・アドレスNo.などが設定（変更）できます。

現在のモード表示

現在設定されている機能が表示されます。



現在設定されているタイマーなどの内容が表示されます。

種別表示
アドレス設定確認時の端末の種別を表示します。

負荷No.

チャンネルNo.

電池残量表示
3段階で電池残量を表示します。

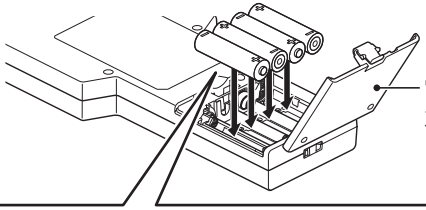
…電池残量あり
すべての機能が使用可能

…電池残量低下
アドレス設定機能が使用不可

…電池残量なし
すべての機能が使用不可

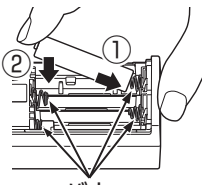
電池の入れ方

裏面の電池カバーをはずし、単3形アルカリ乾電池（1.5 V×4本）を入れてください。
※乾電池交換時は、必ず4本とも交換してください。



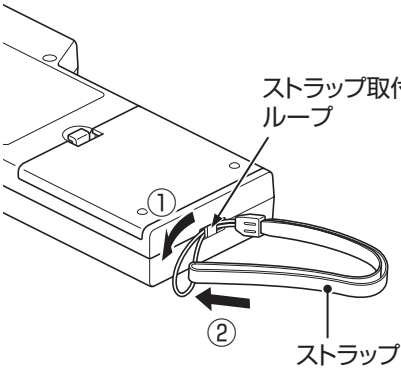
電池はバネへ押し付けた状態で挿入してください。

注 無理に挿入すると、電池表面の被ふくや本器を傷つけるおそれがあります。（十分にご注意ください。）



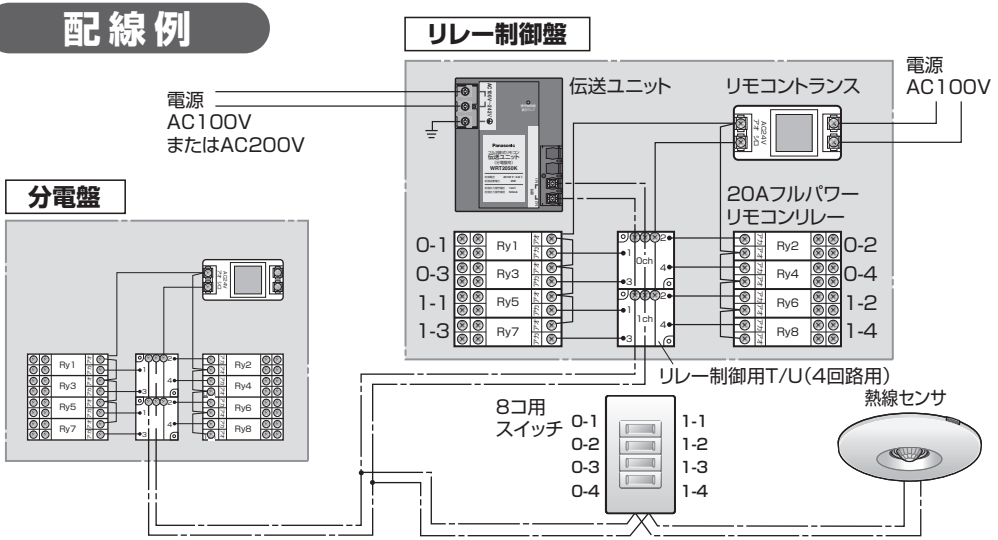
ストラップの取り付け方

ストラップ取付用ループにストラップを通して取り付ける。



設定の前に施工のご確認

配線例



1.伝送ユニット・リモコントランスなどの電源は入っていますか?

2.信号線は各端末器(スイッチ・センサなど)、および他の盤へ配線されていますか?

3.盤内のDIP式アドレス設定方式の端末器の設定は完了していますか?

ディップスイッチ設定式器具のアドレス設定方法

負荷アドレス
(0ch-1~4,…63ch-1~4)
(住所)

＝

負荷チャンネル(ch)
(0~63ch)
(丁目)

＋

負荷ナンバー(No.)
(1~4)
(番地)(64ch×4=256回路)
によって構成されます。

負荷チャンネルは1側の
数字をたしたものです。

32 16 8 4 2 1
1
0

32 16 8 4 2 1
0 + 0 + 0 + 0 + 0 + 0 = 0ch

32 16 8 4 2 1
0 + 0 + 0 + 0 + 0 + 1 = 1ch

32 16 8 4 2 1
0 + 0 + 8 + 0 + 0 + 1 = 9ch

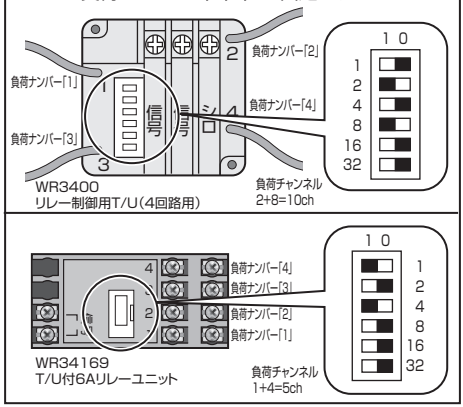
32 16 8 4 2 1
32 + 16 + 8 + 4 + 2 + 1 = 63ch

(最大63チャンネルまで)

■側がディップスイッチを倒す側です。

■リレー制御用T/U・T/U付6Aリレーユニット(4回路用)の場合

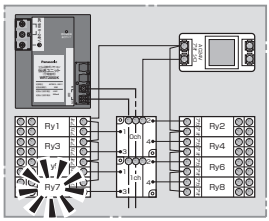
……負荷ナンバー1,2,3,4は固定です。



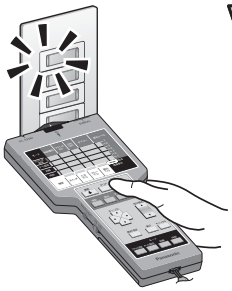
制御方式について

個別制御 （p15参照）

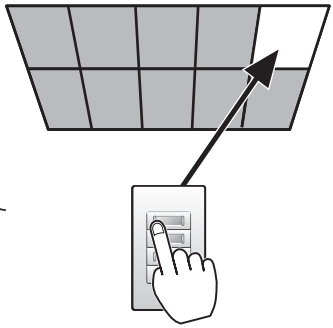
スイッチにアドレスを設定すると
動作します。



リレー制御盤



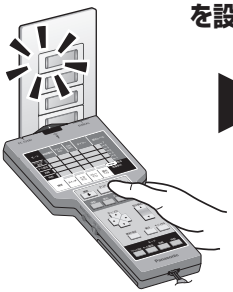
個別にON/OFF



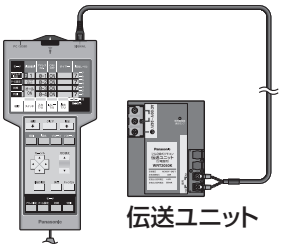
グループ制御 （p15参照）

個別制御ができる、または盤内設定が済んでいることが前提です。

スイッチにグループアドレス
を設定し

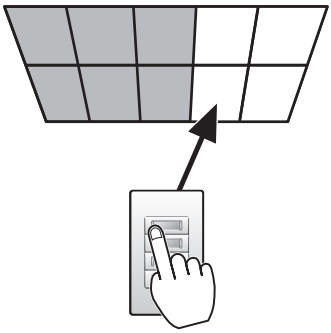


制御の内容を
設定（出力）する



伝送ユニット

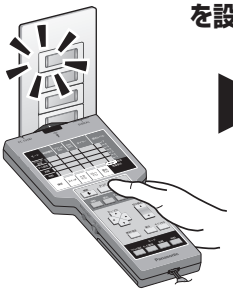
まとめてON/OFF



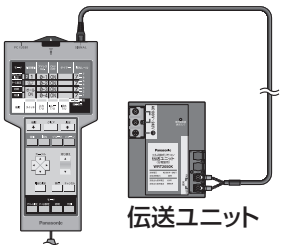
パターン制御 （p16参照）

個別制御ができる、または盤内設定が済んでいることが前提です。

スイッチにパターンアドレス
を設定し

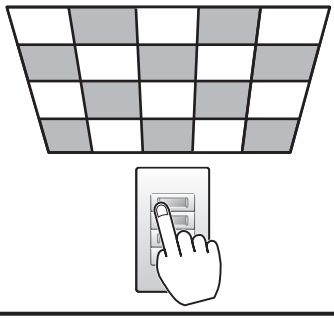


制御の内容を
設定（出力）する



伝送ユニット

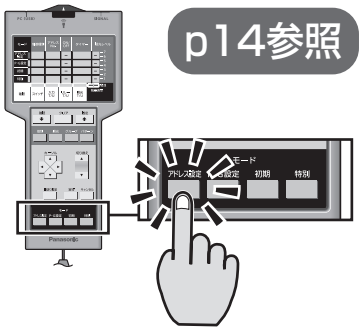
パターンワンプッシュで
シーン再生（切替）



アドレス設定の流れ

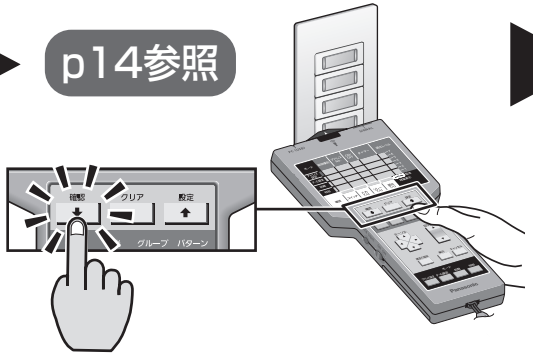
電源スイッチを入れ
モードを「アドレス設定」にする

p14参照



アドレスNo.の確認
（確認だけの場合はここまで）

p14参照



設定手順

確認手順

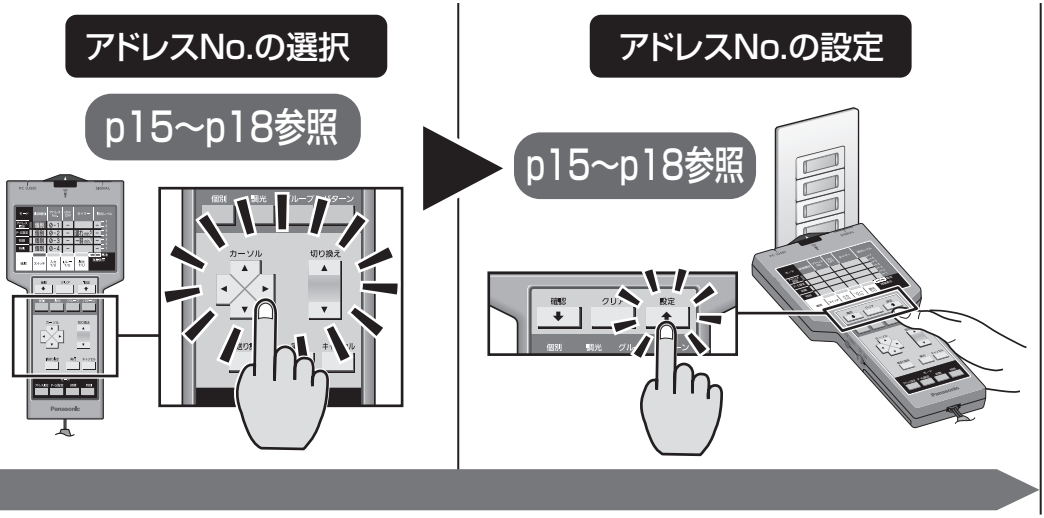
アドレス設定範囲

スイッチ・T/Uの種別によるアドレスNo.およびタイマー設定は、
下記の範囲内で行ってください。

・— 部は設定できません。

種　別	機　能	アドレスNo.	タイマー設定	UP/DOWN設定
スイッチ	個　別	0−1～63−4	○	○※
	G：グループ	1～127	○	○※
	P：パターン	1～72	——	——
	調　光	1～16	○	——
	調　光(ON/OFF)	1～16	○	——
入力T/U	個　別	0−1～63−4	——	——
	G：グループ	1～127	——	——
	P：パターン	1～72	——	——
	調　光	1～16	——	——
	調　光(ON/OFF)	1～16	——	——
リレーT/U	個　別	0−1～63−4	——	——
調光T/U	調　光	1～16	——	——

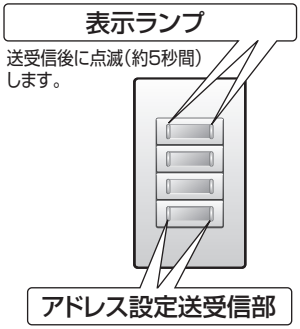
※UP/DOWN設定は、アドバンス形スイッチのみ可能です。



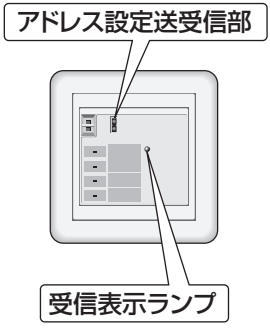
設定事例	本誌ではアドレス設定(変更)の手順・方法について下記の4例で説明しています。該当するページをご覧ください。
A	スイッチに個別またはグループ機能をもたせて、アドレスNo.・タイマーなどを設定する場合 p15参照
B	スイッチにパターン機能をもたせて、アドレスNo.を設定する場合 p16参照
C	調光スイッチにアドレスNo.・タイマーを設定する場合 p17参照
D	電動機器用スイッチ・T/Uなどにアドレスを設定する場合 p18参照

〈送受信部〉

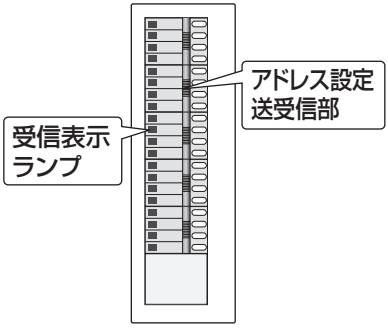
8コ用スイッチの場合



リレーT/Uの場合



セレクタスイッチの場合

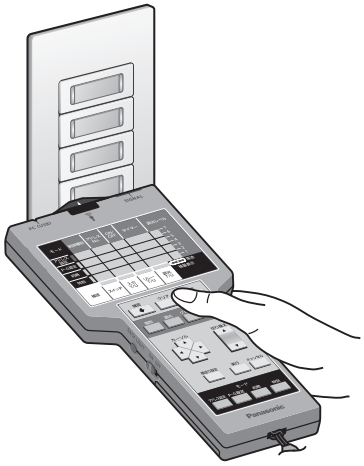


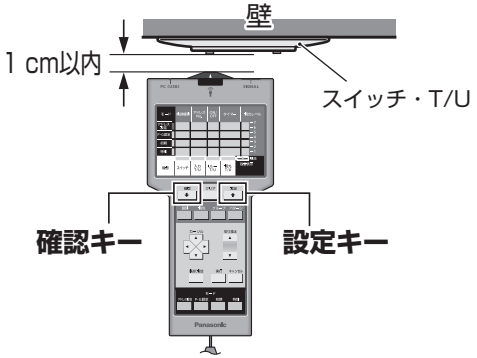
アドレスNo.の確認・設定時のご注意

●本器の受発光部をスイッチ・T / Uの送受信部に1 cm以内にまっすぐ近づけてから**確認キー**または**設定キー**を押してください。

●液晶表示部に“確認中(設定中)”が表示されている間(約1秒～4秒)は本器を動かさないでください。

- **“ピー”という音で完了**をお知らせします。
- **エラー時は“ピッピッピッピッ”という音**でお知らせします。
  (p37、p38「エラー表示について」を確認してください)





注 太陽光など強い光が当たる場所では正しく通信できない場合があります。
(受発光部とスイッチ・T/Uの送受信部を手で覆うなどしてください。)

●アドレスの確認・設定中には、近くで他のワイヤレススイッチや器具などを使用しないでください。確認・設定の操作エラーになる場合があります。

●WRT2050・WRT2040系列以外の伝送ユニットをご使用の場合、正しく設定するため入出力中は、フル2線システム側のスイッチ操作は行わないでください。

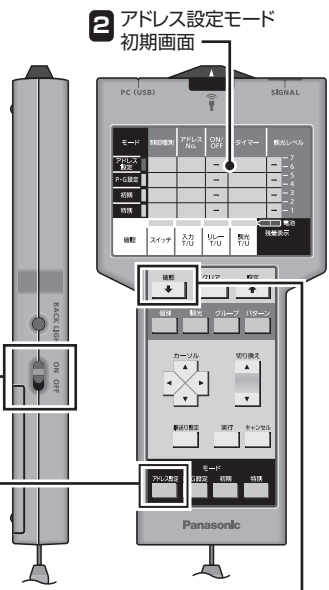
●アドレス設定時には、必ずスイッチ・T/Uがフル2線信号に接続されていることを確認してください。

●設定する前に必ず設定しようとするスイッチ・T/UのアドレスNo.を確認してください。

●アドレスNo.・タイマーの設定内容はアドレスプラン表またはスイッチ・T/Uの本体に鉛筆などで必ず記入しておいてください。

アドレスNo.の確認方法

スイッチ・T / Uの「種別・機能・アドレスNo.」を確認します。



1 本器の 電源スイッチ を入れる

●電源スイッチを入れると液晶パネルは
「P・G設定」モードの初期画面が表示されます。

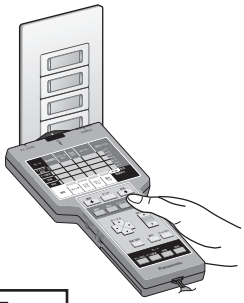
2 モードを「アドレス設定」にする

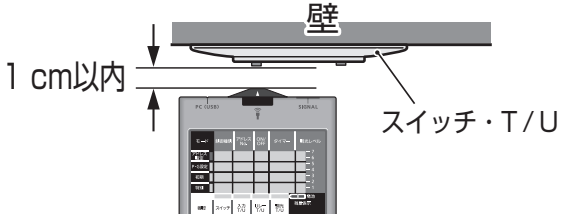


を押す

●液晶パネルは「アドレス設定」モードの
初期画面が表示されます。

3 スイッチ・T / Uの送受信部に近づける





4 

キーを押す

●ピー音を確認する（約1秒～4秒）

●スイッチ・T / Uは出荷時の状態では、
設定されていませんので表示パネルに「アドレスNo.」は表示されません。

●すでにアドレスNo.が設定されている場合、
液晶パネルに「種別・機能・アドレスNo.」が表示されます。

●設定できないところは“ー”で表示されます。

モード　アドレス設定

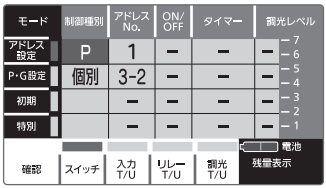
アドレスNo.の設定/編集(変更)方法 **A**

スイッチに個別またはグループ機能をもたせて、アドレスNo.・タイマーなどを設定する場合

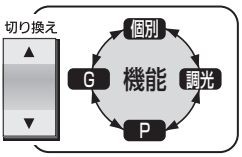
例 2コ用スイッチに「機能：個別、アドレスNo.：0−1、タイマー設定：遅れ5分」および「グループ 2」を設定

1 スイッチの現在の「種別・機能・アドレスNo.」を確認する (p13・p14参照)

●現在の設定が表示されます。――〔例〕



2 設定/編集(変更)したい機能 “ 個別 ” を入力する



→ 個別 を選択、

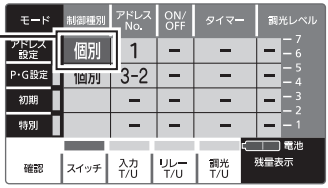
または**機能選択キー**



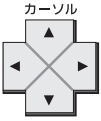
を押して機能を

個別 にする

▼カーソル位置

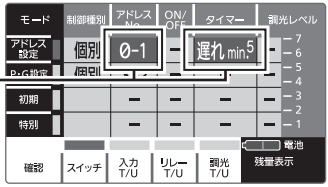


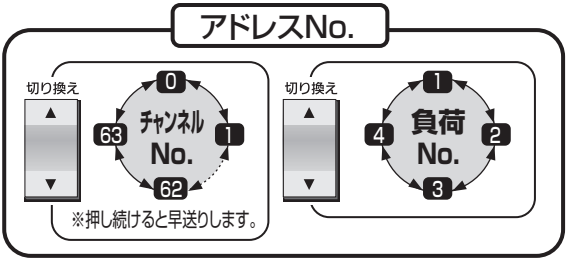
3 アドレスNo.（チャンネルNo.+負荷No.） “0−1” およびタイマー “遅れ5min ” を入力する



キー▶カーソルを移動してアドレスNo. “ **0−1**”とタイマー“ **遅れ5min** ”を入力

チャンネルNo.　負荷No.







4 カーソルを2行目に移動し、「グループ2」のアドレスNo.を 2 3 と同じ要領で設定・入力する（機能 “ G ” 、アドレスNo. “ 2 ” を選択する）

5 設定 ↑ キーを押す（ピー音を確認する）

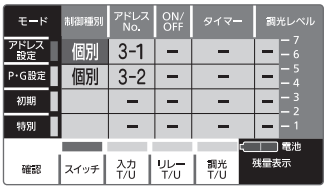
アドレスNo.の設定/編集(変更)方法 **B**

スイッチにパターン機能をもたせて、アドレスNo.を設定する場合

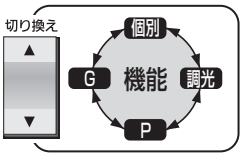
例 2コ用スイッチに「パターン 5、パターン 6」を設定

1 スイッチの現在の「種別・機能・アドレスNo.」を確認する (p13・p14参照)

●現在の設定が表示されます。――――――――〔例〕



2 設定/編集(変更)したい機能“ P ”を入力する

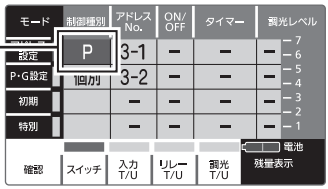


→ P を選択、

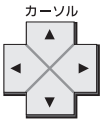
または**機能選択キー** パターン を押して機能を

P にする

▼カーソル位置

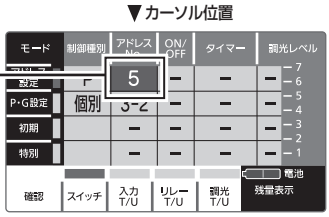


3 アドレスNo.“ 5 ”を入力する



キー ▶カーソルを移動して“ 5 ”を入力

▼カーソル位置





4 カーソルを2行目に移動し、「パターン6」のアドレスNo.を 2 3 と同じ要領で設定・入力する（機能“ P ”、アドレスNo.“ 6 ”を選択する）

5 設定 ↑ キーを押す（ピー音を確認する）

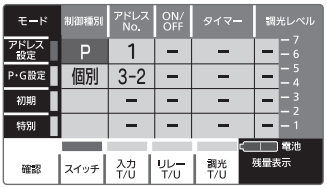
アドレスNo.の設定/編集(変更)方法 **C**

調光スイッチにアドレスNo.・タイマーを設定する場合

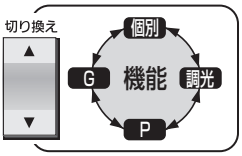
例 調光レベル制御用スイッチのアドレス「個別、1−1」と
ON/OFF用スイッチのアドレス「個別、1−2、一時60分」を設定

1 スイッチの現在の「種別・機能・アドレスNo.」を確認する
(p13・p14参照)

●現在の設定が表示されます。〔例〕



2 設定/編集(変更)したい機能 **“ 個別 ”** を入力する

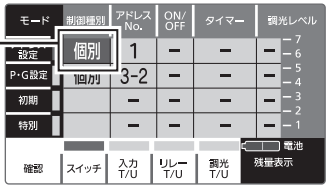


→ **個別** を選択、
または**機能選択キー** 

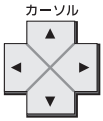
を押して機能を

個別 にする

▼カーソル位置



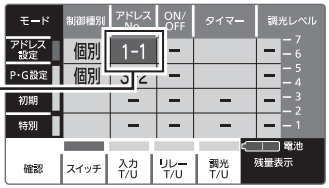
3 アドレスNo.(チャンネルNo.+負荷No.)“ 1−1”を入力する

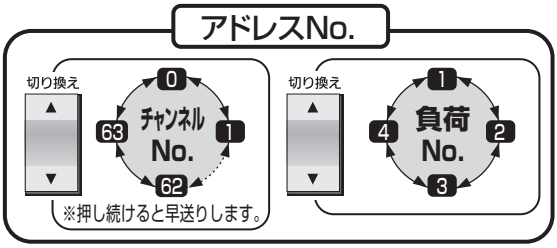


キー▶カーソルを移動してアドレスNo.
“ 1−1”を入力

チャンネルNo. 負荷No.

▼カーソル位置





4 カーソルを2行目に移動し、「ON/OFF」用のアドレスNo.を **2** **3** と同じ要領で設定・入力する
(機能“ 個別 ”、アドレスNo.“ 1−2 ”とタイマー“ 一時60min ”を選択する)

5 設定 キーを押す(ピー音を確認する)

アドレスNo.の設定/編集(変更)方法 **D**

電動機器用スイッチ・T/Uなどにアドレスを設定する場合

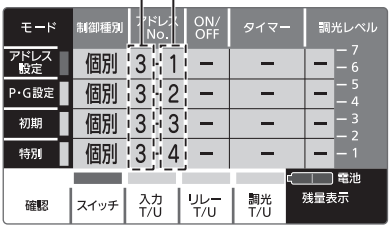
電動機器用のスイッチ・T/Uなどのアドレスを下記の通りです。
スイッチのアドレスNo.の設定と同じ要領で設定してください。

WRT54019W　電動機器用制御スイッチ（表示付）

例えばチャンネルNo.3のときはすべて3に合わせます。

上から順に1～4に設定します。

● 同一チャンネルに設定する

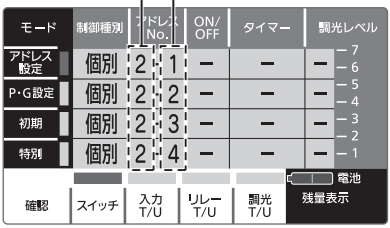


WRT4421K・WRT4422K　電動機器用T/U

例えばチャンネルNo.2のときはすべて2に合わせます。

上から順に1～4に設定します。

● 同一チャンネルに設定する



注 電動機器用T/Uに使用したアドレスNo.は、個別スイッチ・T/Uには使用できません。

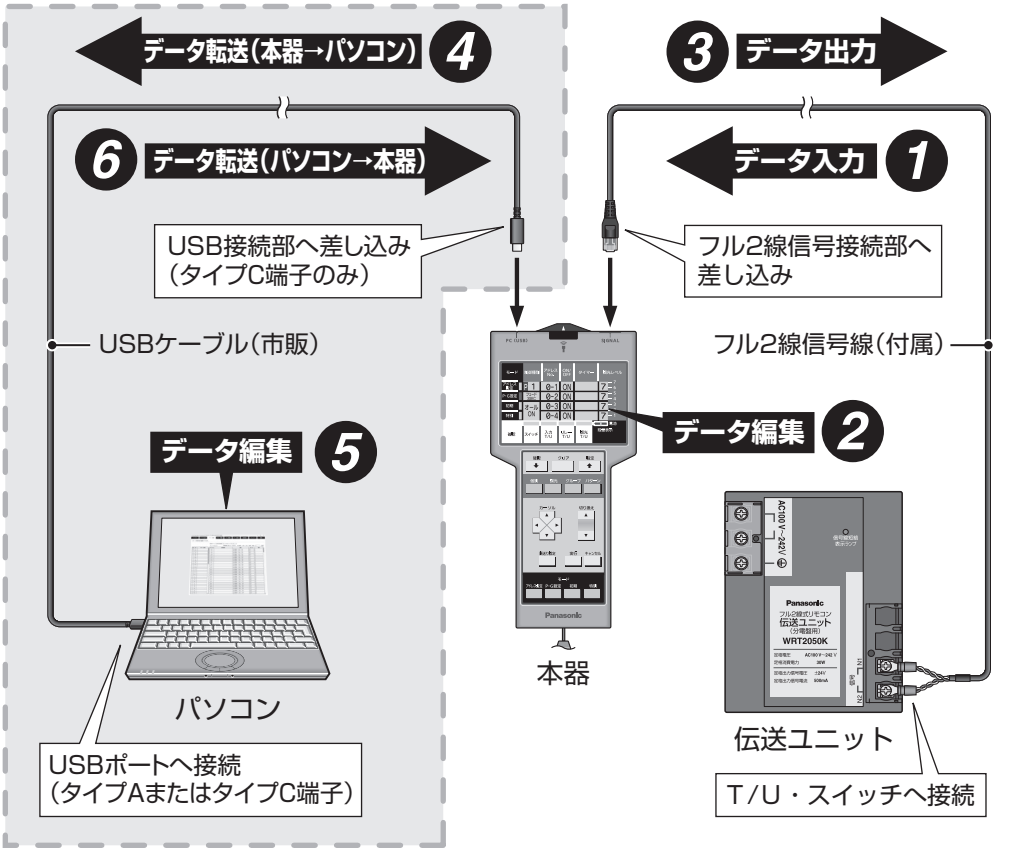
WRT4500　エアコン用T/U（HA端子対応型）

●アドレスNo.の設定

T/U付6A 埋込リレーユニット(1回路用)WRT4101Kと同じように
設定してください。

パターン・グループ（P・G）設定の流れ

設定されたパターン・グループ制御内容は、伝送ユニット内に記憶されています。その記憶されたデータの内容を編集（変更）して設定し直すことができます。



本器とパソコン間でパターン・グループ設定データを転送するためには、機器間のUSB接続が必要になります。

■注意事項

- ●パターン・グループ制御内容の編集はフル2線信号が接続されていなくてもできます。
- ●パターン・グループ制御内容の入出力には、フル2線信号を接続する必要があります。
- ●パターン・グループ制御内容の設定はフル2線システム側にT/Uが接続されていなくても、設定内容を入出力することができます。
- ●設定中は負荷の状態は変わりません。

本器でデータ編集を行う場合

※新規でパターン・グループ制御内容を設定する場合は 作業1 は不要です。

作業1 ：データ入力（❶）

伝送ユニットからパターン・グループ制御内容を本器に入力します。
<補足> 伝送ユニットに記憶されている制御内容を本器にバックアップデータとして保管が可能です。

作業2 ：データ編集（❷）

伝送ユニットから本器に読み込んだパターン・グループ制御内容の編集（変更）を行います。
<補足> 伝送ユニットWRT2050・WRT2040系列使用の場合は以下の設定が行えます。
●パターン制御内容設定時、個別アドレス使用の調光レベル設定
●パターン制御内容設定時、フェード時間の設定

作業3 ：データ出力（❸）

本器のパターン・グループ制御内容を伝送ユニットへ出力します。

パソコンでデータ編集を行う場合

※新規でパターン・グループ制御内容を設定する場合は 作業1 ～ 作業2 は不要です。

作業1 ：データ入力（❶）

伝送ユニットからパターン・グループ制御内容を本器に入力します。

作業2 ：データ転送（本器→パソコン）（❹）

本器のパターン・グループ制御内容をパソコンへ転送します。
<補足> 本器に記憶されている制御内容をパソコンにバックアップデータとして保管が可能です。

作業3 ：データ編集（❺）

パソコンでパターン・グループ制御内容の編集（変更）を行います。

作業4 ：データ転送（パソコン→本器）（❻）

パソコンのパターン・グループ制御内容を本器へ転送します。

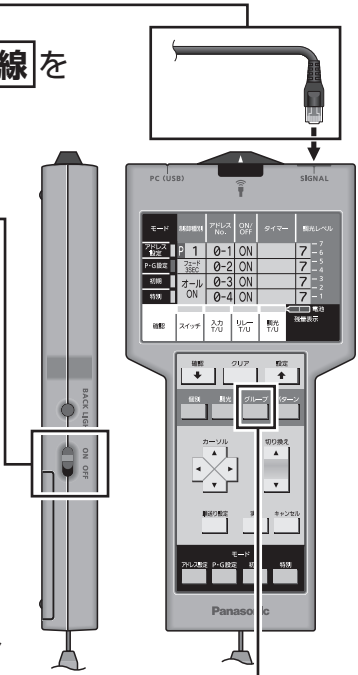
作業5 ：データ出力（❸）

本器のパターン・グループ制御内容を伝送ユニットへ出力します。

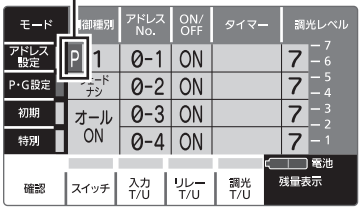
パターン・グループ(P・G)設定モードの立ち上げ

本器でデータ編集を行う場合

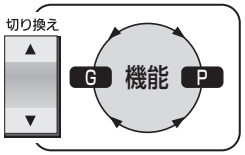
1 伝送ユニットに接続した付属の**フル2線信号線**を本器のフル2線信号接続部に接続し、本器の**電源スイッチ**を入れる



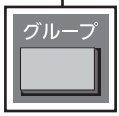
●本器は電源スイッチを入れると、「P・G設定モード」が立ち上がり、液晶パネルは「P・G設定モード」の**「パターン設定」**の初期画面が表示されます。



2 **"グループ"**機能の設定(変更)を選択したい場合

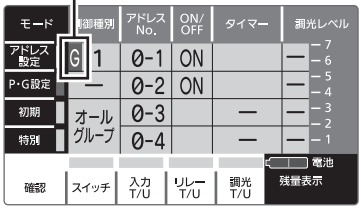


→ **G** を選択、
または**機能選択キー**で



を押す

「グループ設定」の初期画面が表示されます。

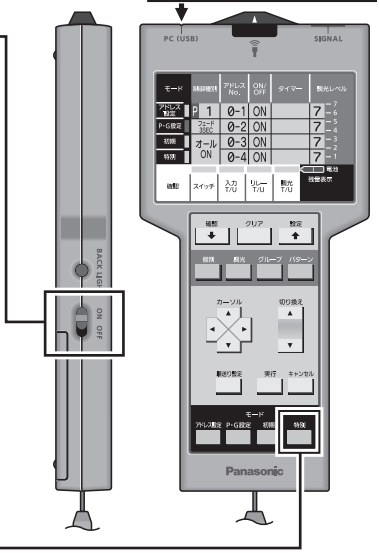


●本器でのデータ編集の詳細についてはp23〜p28を参照してください。

パソコンでデータ編集を行う場合

1 パソコンに接続した市販の**USBケーブル**（タイプA to CまたはタイプC to C）を本器のUSB接続部に接続し、本器の**電源スイッチ**を入れる





2 モードを「特別設定」にする



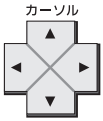
を押す

●液晶パネルは「特別設定」モードの初期画面が表示されます。

モード	制御種別	アドレスNo.	ON/OFF	タイマー	調光レベル
アドレス設定	伝送ユニット	入力			7 6
P·G設定	チェック	動作確認			5 4
初期	編集	パターン反転			3 2
特別	設定状態	P·G設定モード設定			1
				電池	
確認	スイッチ	入力T/U	リレーT/U	調光T/U	残量表示

〈特別設定モード初期画面〉

3 設定状態の項目を**“PC接続”**にする

❶ 

キーで**“設定状態”**を選択する

伝送ユニット	入力
チェック	動作確認
編集	パターン反転
設定状態	P·G設定モード設定

← 選択

❷ 

キーで**“PC接続”**に切り換える

伝送ユニット	入力
チェック	動作確認
編集	パターン反転
設定状態	PC接続

← 切り換える

❸ 

キーを押す

●PC接続を実行後は、専用のPCアプリの操作により、データ編集・データ転送が可能になります。PCアプリでの編集・データ転送の詳細については、PCアプリの操作マニュアルを参照してください。

パターン・グループ制御内容の設定および変更方法

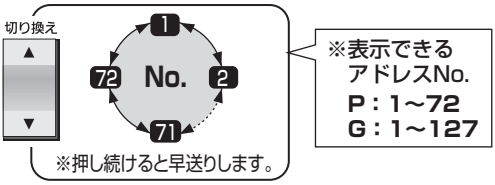
画面表示されているパターン・グループ制御内容のみを 本器と伝送ユニット間で入出力(読み込み、書き込み)する方法

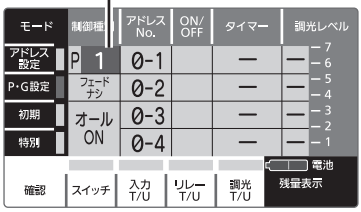
1 フル2線信号線(付属)を接続し、電源を入れる(P・G設定モードの立ち上げ)

2 パターンかグループを**“切り換えキー”**または**“機能選択キー”**で入力する

p21 参照

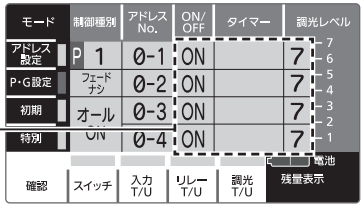
3 カーソルを移動して設定したいパターンかグループの No.(アドレス) を **“切り換えキー”**で選択する



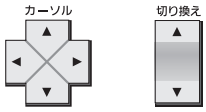


4 確認 キーを2秒以上押す

- 伝送ユニットから、選択したデータが本器に入力(読み込み)されます。
- 表示されているパターン・グループのアドレスNo.の内容だけが入力(本器に読み込み)されます。



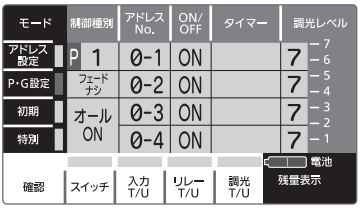
5 **“カーソルキー”**と**“切り換えキー”**で設定内容を編集(変更)する



編集(変更)のしかたはp25～p28参照

6 設定 キーを2秒以上押す

- 伝送ユニットへ編集(変更)したデータが本器から伝送ユニットに出力(書き込み)されます。
- 表示されているパターン・グループのアドレスNo.の内容だけが出力(伝送ユニットに書き込み)されます。



指定範囲のパターン・グループの制御内容を
本器と伝送ユニット間で入出力(読み込み、書き込み)する方法

1 フル2線信号線(付属)を接続し、電源を入れる(P·G設定モードの立ち上げ)
(p21参照)

2 モードを**"特別設定"**に切り換える→**モード設定部** 

を押す (p31参照)

3 指定範囲のパターン·グループの制御内容を伝送ユニットから入力(読み込み)する(p32参照)

4 モードを**"パターン·グループ設定"**に戻す→**モード設定部** 

を押す

5 設定内容を編集(変更)する 編集(変更)のしかたはp25～p28参照

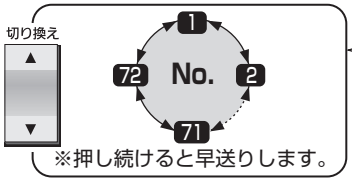
6 モードを**"特別設定"**に切り換える→**モード設定部** 

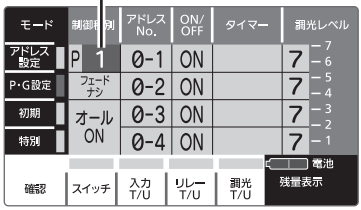
を押す

7 指定範囲のパターン·グループの制御内容を伝送ユニットへ出力(書き込み)する(p32参照)

パターン・グループ制御内容の編集(変更)手順

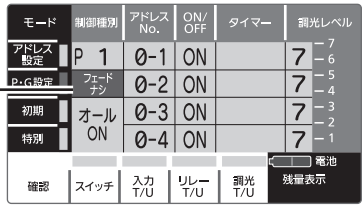
1 カーソルを移動して、設定したいパターンかグループの No.(アドレス) を **“切り換えキー”**で選択する





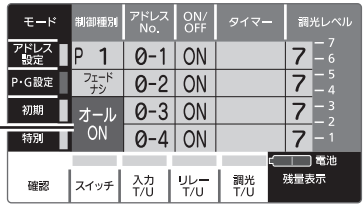
2 **WRT2050・WRT2040系列伝送ユニット**ではパターンの場合のみ フェード時間 の設定ができます。(p27参照)

WRT2050・WRT2040系列以外の伝送ユニットでは **3** または **4** へ進んでください。

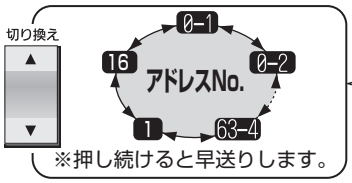


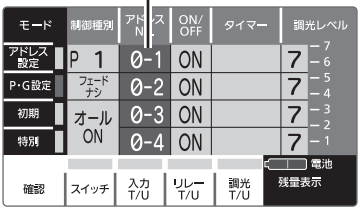
3 オールON、オールクリアーなど、同じ設定が多い場合 などに種々の設定ができます。(p27・p28参照)

同じ設定が多くない場合には、**4** へ進んでください。

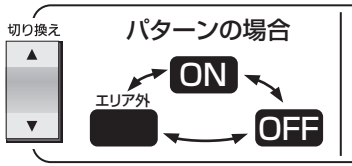


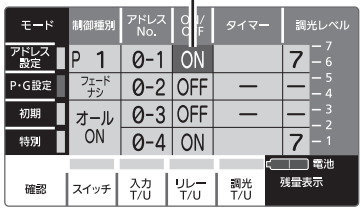
4 カーソルをアドレスNo.の欄に移動して、編集(変更)したい アドレスNo. を **“切り換えキー”**で選択する



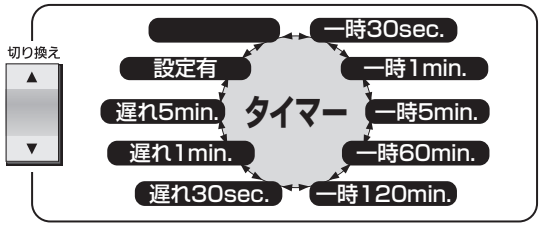


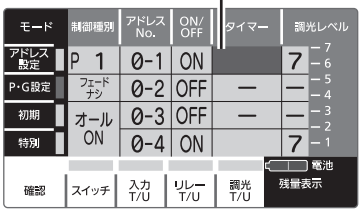
5 カーソルをON/OFFの欄に移動して、編集(変更)したい 制御内容 を **“切り換えキー”**で選択する





6 カーソルをタイマーの欄に移動して、設定したい タイマー時間 を “切り換えキー”で選択する(ON設定されているアドレスのみ)

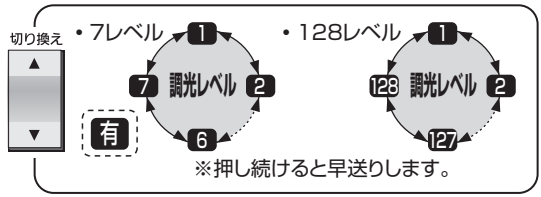


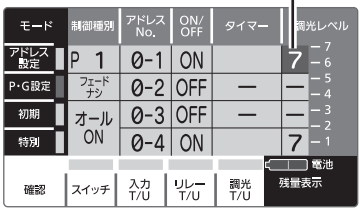


※1つのパターンあるいはグループ当たりのタイマー設定は8回路以内です。

設定有 ・WRT2000K系列伝送ユニット接続時は、すでに伝送ユニットに設定されているタイマー時間を変更せずにそのまま設定します。
・WRT2050・WRT2040系列伝送ユニット接続時は、設定有を選択しないでください。すでに設定されているタイマー時間が消去されます。

7 カーソルを調光レベルの欄に移動して、設定したい 調光レベル を “切り換えキー”で選択する





有 ・伝送ユニットのレベルモードが128レベル、本器のレベルモード設定が7レベルのときに表示されます。選択すると、すでに伝送ユニットに設定されている調光レベル(128レベル)を変更せずにそのまま設定します。

●WRT2050・WRT2040系列伝送ユニット接続時は、個別256回路、調光16回路のON設定されているアドレスのみ選択

●WRT2000K系列伝送ユニット接続時は、調光16回路のON設定されているアドレスのみ選択

●調光レベル対応表

調光スイッチ LED点灯数	7レベルモード	128レベルモード (デフォルト値)
6	7	121～128(128)
5	6	97～120(115)
4	5	73～96(90)
3	4	49～72(65)
2	3	25～48(40)
1	2	2～24(15)
0	1	1(1)

デフォルト値:
・7レベルモードで設定されたレベル値が128レベルモードに変更されたときに対応するレベル値

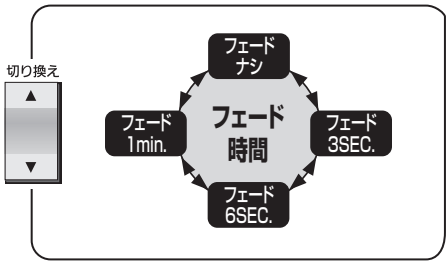
8 設定が完了すれば必ず、設定 ↑ キーを押してください。

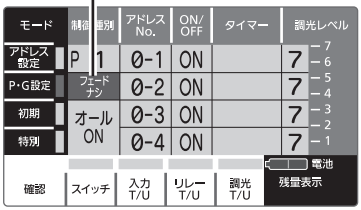
注 設定キーを押さないと、電源をOFFした時に編集(変更)内容が消去されます。

パターン・グループ制御内容の編集(変更)手順 2 3 の補足説明

2 **WRT2050・WRT2040系列伝送ユニット**ではパターン制御の場合のみ **フェード時間** の設定ができます。

図に示す位置にカーソルを移動して、設定したい
フェード時間を**“切り換えキー”**で選択する

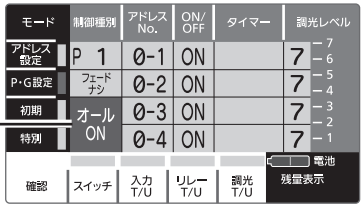


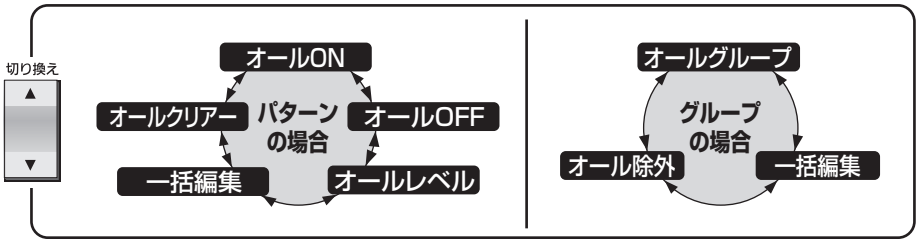


注 WRT2050・WRT2040系列以外の伝送ユニットでは「フェード時間」の設定はできません。

3 オールON、オールクリアーなど同じ設定が多い場合に、次ページで説明する **種々の設定** ができます。

❶ 図に示す位置にカーソルを移動して、設定したい項目を**“切り換えキー”**で選択する





❷ 選択後、 実行 キーを押す

パターンの場合

オールON選択時

●設定する場合**“実行キー”**を、中止する場合は**“キャンセルキー”**を押す
- 個別256回路、調光16回路すべてON設定

オールOFF選択時

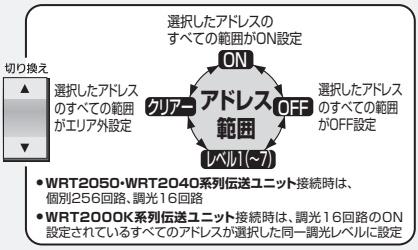
●設定する場合**“実行キー”**を、中止する場合は**“キャンセルキー”**を押す
- 個別256回路、調光16回路すべてOFF設定

オールレベル選択時（WR3212伝送ユニットでは選択できません。）

●**“切り換えキー”**を使用し、設定したい調光レベルを選択
設定する場合**“実行キー”**を、中止する場合は**“キャンセルキー”**を押す
- WRT2050・WRT2040系列伝送ユニット接続時は、個別256回路、調光16回路
- WRT2000K系列伝送ユニット接続時は、調光16回路のON設定されているすべてのアドレスが選択した同一調光レベルに設定

一括編集選択時

●**“カーソルキー”** **“切り換えキー”**で
設定したいアドレス範囲を選択する
設定する場合**“実行キー”**を、中止する
場合は**“キャンセルキー”**を押す



- **WRT2050・WRT2040系列伝送ユニット**接続時は、個別256回路、調光16回路
- **WRT2000K系列伝送ユニット**接続時は、調光16回路のON設定されているすべてのアドレスが選択した同一調光レベルに設定

オールクリア選択時

●設定する場合**“実行キー”**を、中止する場合は**“キャンセルキー”**を押す
- 個別256回路、調光16回路すべてエリア外設定

グループの場合

オールグループ選択時

●設定する場合**“実行キー”**を、中止する場合は**“キャンセルキー”**を押す
- 個別256回路、調光16回路すべてグルーピング設定

一括編集選択時

●**“カーソルキー”** **“切り換えキー”**で設定したいアドレス範囲を選択する
設定する場合**“実行キー”**を、中止する場合は**“キャンセルキー”**を押す

オール除外選択時

●設定する場合**“実行キー”**を、
中止する場合は**“キャンセルキー”**
を押す
- 個別256回路、調光16回路すべて除外設定



初期設定モードの立ち上げ

1 本器の 電源スイッチ を入れる

●電源スイッチを入れると液晶パネルは
「P·G設定」モードの初期画面が表示されます。

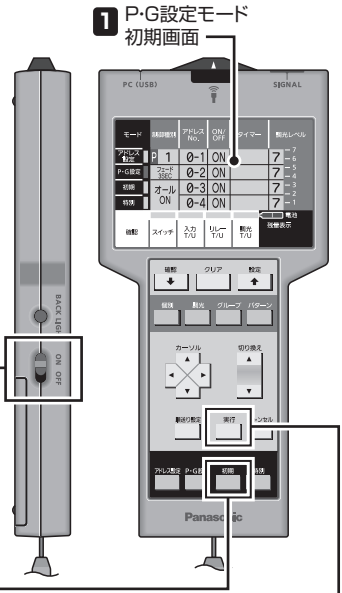
2 モードを「初期設定」にする

初期 を押す

●液晶パネルは「初期設定」モードの
初期画面が表示されます。

モード	制御種別	アドレスNo.	ON/OFF	タイマー	調光レベル
アドレス設定	操作音			あり	7
P·G設定	電源切断時間			5分	5
初期	伝送ユニット			WRT2050	3
特別	端末数変化監視			解除	1
確認	スイッチ	入力T/U	リレーT/U	調光T/U	電池残量表示

〈初期設定モード初期画面〉



3 初期設定モードで設定ができる項目は下記の4項目です。

● 操作音の設定	● 電源切断時間の設定
● 伝送ユニットの設定	● 端末数変化監視の設定

❶ カーソル キーで設定(変更)したい項目を選択する

操作音	あり
電源切断時間	5分
伝送ユニット	WRT2050
端末数変化監視	解除

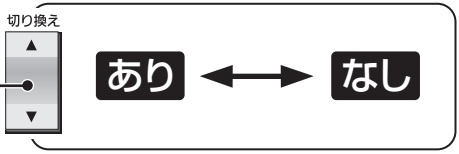
選択

❷ 切り換え キーで希望する設定に切り換えます。(次ページ参照)

各項目の設定

操作音の設定

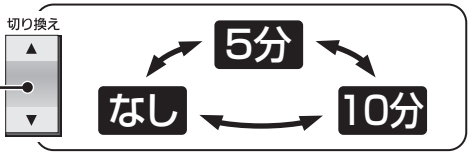
操作音	あり
電源切断時間	5分
伝送ユニット	WRT2050
端末数変化監視	解除



工場出荷時は“あり”に設定されています。

電源切断時間の設定

操作音	あり
電源切断時間	5分
伝送ユニット	WRT2050
端末数変化監視	解除

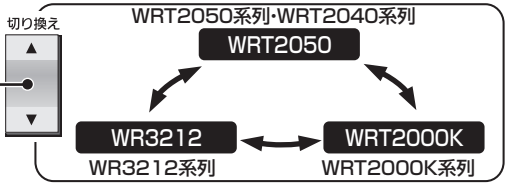


工場出荷時は“5分”に設定されています。

伝送ユニットの設定

操作音	あり
電源切断時間	5分
伝送ユニット	WRT2050
端末数変化監視	解除

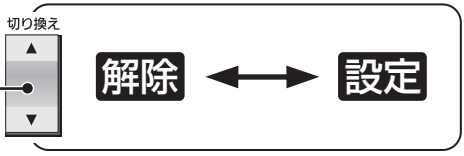
選択時、再度確認画面が表示されたら 実行 を押す



工場出荷時は“WRT2050”に設定されています。
伝送ユニットの設定を変更した場合に、
「別伝送ユニットデータがあります」と表示されます。
変更または消去を実行してください。

端末数変化監視の設定

操作音	あり
電源切断時間	5分
伝送ユニット	WRT2050
端末数変化監視	解除



工場出荷時は“解除”に設定されています。

端末数が変化しました。
端末番号 2-1
戻る▶ キャンセル

●設定時、端末数が変化すれば、左の表示画面になります。

特別設定モードの立ち上げ

1 本器の 電源スイッチ を入れる

●電源スイッチを入れると液晶パネルは
「P·G設定」モードの初期画面が表示されます。

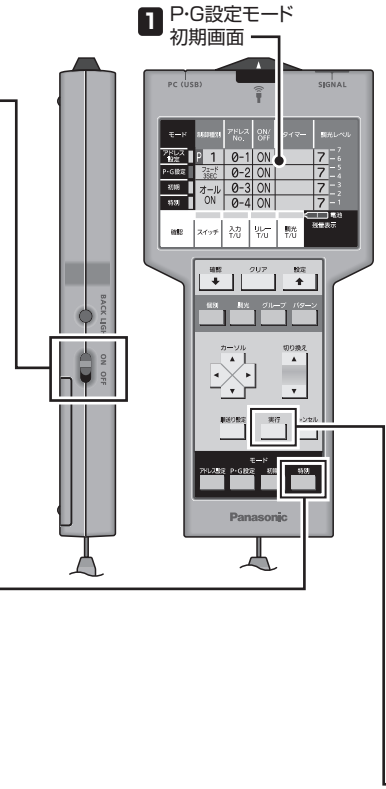
2 モードを「特別設定」にする

特別 を押す

●液晶パネルは「特別設定」モードの
初期画面が表示されます。

モード	捕御種別	アドレスNo.	ON/OFF	タイマー	調光レベル
アドレス設定	伝送ユニット	入力			7 6 5 4 3 2 1
P·G設定	チェック	動作確認			
初期	編集	パターン反転			
特別	設定状態	P·G設定モード設定			
確認	スイッチ	入力T/U	リレーT/U	調光T/U	電池 残量表示

〈特別設定モード初期画面〉



3 特別設定モードで設定ができる項目は下記の4項目です。

● 伝送ユニットの設定	● チェック
● 編集	● 設定状態

❶ カーソル キーで設定(変更)したい項目を選択する

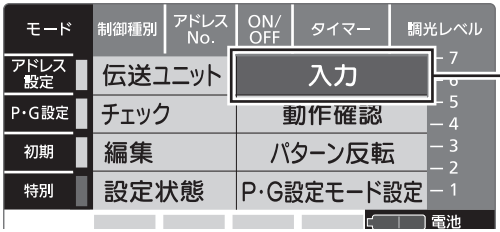
伝送ユニット	入力
チェック	動作確認
編集	パターン反転
設定状態	P·G設定モード設定

選択

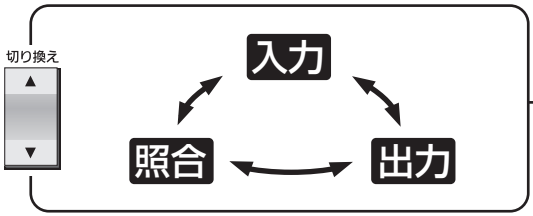
❷ 切り換え キーで希望する設定に切り換えます。(p32〜p36参照)

各項目の設定

伝送ユニット



❶ 設定(変更)したい項目を選択する



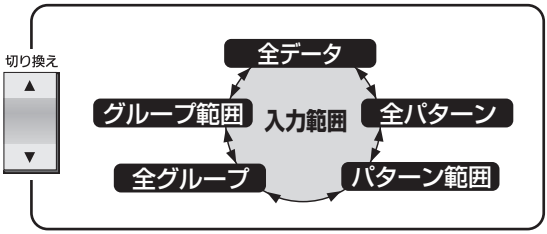
入力… 伝送ユニットからパターン・グループ制御内容を本器に入力

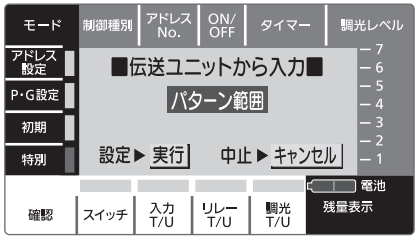
出力… 本器のパターン・グループ制御内容を伝送ユニットへ出力

照合… 本器と伝送ユニットのパターン・グループ制御内容を照合

❷ 選択後、実行 キーを押す

❸ **"切り換えキー"**でデータ入力(本器へ読み込み)範囲を選択し、
実行 キーを押す

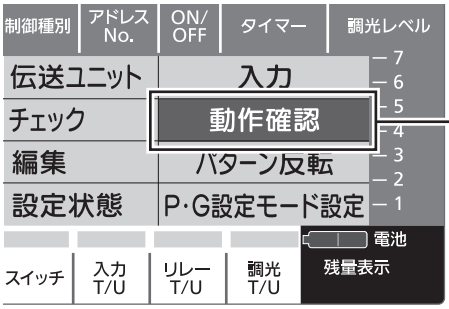




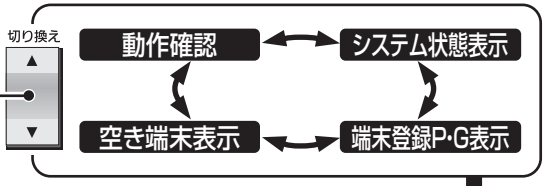
注 **パターン範囲** · **グループ範囲** を選択した場合は、入力(本器へ読み込み)範囲のアドレスを**"切り換えキー" "カーソル"**で指定後**"実行キー"**を押してください。

各項目の設定

チェック



❶ 設定(変更)したい項目を選択する



❷ 選択後、実行 キーを押す

動作確認

種別	番号	確認
G	127	ON

●種別、番号を入力すると、現在の状態がON/OFFと調光レベルで表示されます。
(調光がない場合はレベル位置にカーソルが移動しません)

●制御する場合、確認のON/OFF部(または調光レベル)へカーソルを移動後、**"切り換えキー"**を操作してください。

システム状態表示

個別	1	2	3	4
0ch	—	ON	ON	OFF
1ch	—	OFF	ON	ON
2ch	—	OFF	ON	ON

●フル2線システムの状態を表示します。

●1画面で12端末の表示ができます。

●**"切り換えキー"**でページのアップダウンができます。

空き端末表示

空き端末表示			1 / 1
0-1	0-2	0-3	0-4
23-1	25-2	34-1	34-4
1	3	14	16

●伝送ユニットに接続されていない端末のアドレスを表示します。

●**"切り換えキー"**でページのアップダウンができます。

端末登録P·G表示

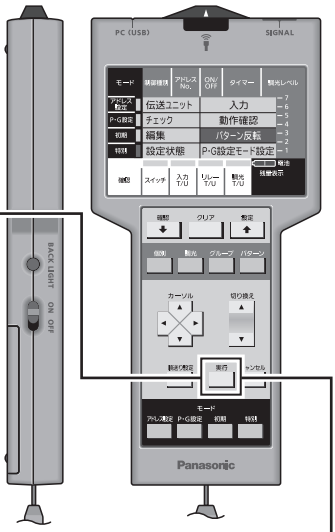
アドレス 個別	11-2	1 / 1	
P 1	P 12	P 15	G 1
G 7			

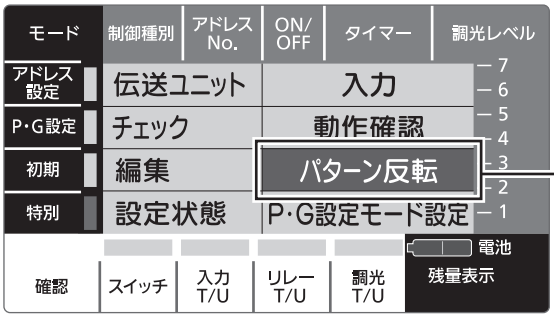
●本器内のデータを検索し、検索アドレスが入っているパターン·グループのアドレスを表示します。

●検索アドレスを設定後、**"実行キー"**を押すと上記画面になります。

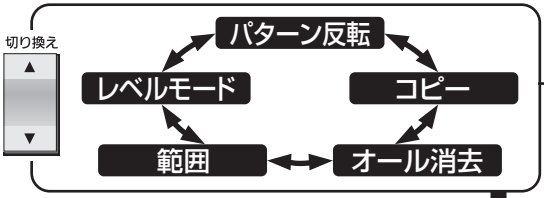
●**"切り換えキー"**でページのアップダウンができます。

編　集





❶ 編集(変更)したい項目を選択する



❷ 選択後、

キーを押す

パターン反転 …パターン制御内容を反転することができます。

コピー …パターン･グループ制御内容を他のパターン･グループにコピーすることができます。

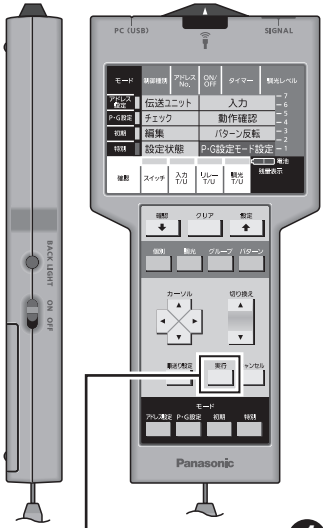
オール消去 …“全データ”“全パターン”“全グループ”を選択し、その設定内容をまとめて消去することができます。

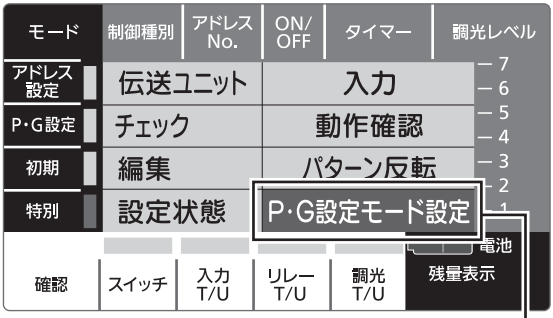
範 囲 …範囲指定したパターン･グループの制御内容を一括でON/OFF、エリア外に編集することができます。

レベルモード …調光の分解能を7レベルと128レベルで切り替えることができます。

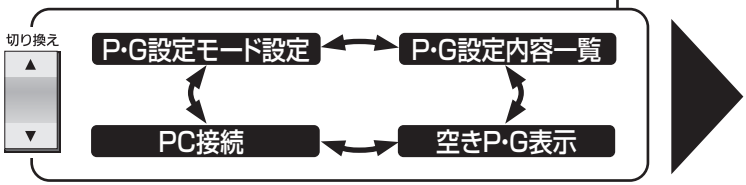
各項目の設定

設定状態





❶ 編集(変更)したい項目を選択する



※空きP・G表示、P・G設定内容一覧は、本器に記憶されたデータを表示します。最新データを表示する前に、パターン・グループの制御内容を伝送ユニットから読み込んでください。(p32参照)

❷ 選択後、実行 キーを押す

P・G設定モード設定

システムを設定状態、通常状態に移行できます。

P・G設定内容一覧

選択したパターン・グループ制御内容を一覧で表示します。

P1	1	2	3	4
0ch	—	ON	ON	OFF
1ch	—	OFF	ON	ON
2ch	—	OFF	ON	ON

● 

キーでページのアップダウンができます。

空きP・G表示

使用されていないパターン・グループ番号を表示します。

● 空いているパターン・グループは“○”で表示されます。

P 1	P 2	P 3	P 4
—	○	○	○
P 5	P 6	P 7	P 8
○	—	—	—

● 

キーでページのアップダウンができます。

PC接続

PC接続モードに移行し、パソコンとの通信が可能になります。

エラー表示について

エラー表示		症　状（メッセージ）	点　検	処　置
アドレス設定時	エラー (E-10)	“アドレス確認ができません” “アドレス設定ができません”	スイッチ･T/Uにフル2線信号線（付属）が接続されていますか?	キャンセルを押してフル2線信号線（付属）を接続してください。
			スイッチ･T/Uと本器の間が離れすぎていませんか?	キャンセルを押して1 cm以内で行ってください。
			本器に電池が入っていますか?	本器に電池を入れ、再度行ってください。
			P･Gの設定画面が出ていませんか?	アドレス設定キーを押してください。
	エラー (E-11)	“確認データが異常です”	“確認中”表示がされている間に本器を動かしていませんか?	キャンセルを押して、確認中は本器を動かさないでください。
	エラー (E-12)	“確認機種と異なります”	確認したスイッチ･T/Uの機種と設定した機種が異なっていませんか?	キャンセルを押して確認操作からやり直してください。
	エラー (E-13)	“確認端末個数と異なります”	2コ用スイッチのアドレスを4コ用スイッチに設定するなど、確認したアドレス数と設定したアドレス数が異なっていませんか?	キャンセルを押して確認操作からやり直して、アドレスNo.を正しく入力してください。
	エラー (E-14)	“アドレス設定ができません”	確認した調光スイッチの機種と設定した機種が異なっていませんか?	キャンセルを押して確認操作からやり直して、アドレスNo.を正しく入力してください。
P･G設定時	エラー※ (E-20)	“フル2線信号が存在しません”	フル2線信号線（付属）が接続されていますか?	フル2線信号線（付属）を接続してください。
			伝送ユニットの電源が入っていますか?	キャンセルを押して、伝送ユニットの電源を入れてください。
	エラー (E-21)	“伝送ユニット判別ができません”	伝送ユニットがWRT2000K系列で、システムに接続されている調光T/Uの切換スイッチが、WRT2050側になっていませんか?	接続されている調光T/Uの切換スイッチをWRT2000K側にしてください。
			伝送ユニットがWRT2050系列以外のフル2線システムで個別または設定スイッチが繰り返し操作や、熱線センサが検知していませんか?	伝送ユニットに対して入出力中に、フル2線システム側のスイッチ操作や、熱線を検知させないでください。（スイッチ操作や、熱線が検知する可能性がある場合は本器を直接接続して入出力してください。）
	エラー (E-22)	“設定モードを解除して下さい”	フル2線システム側が設定状態になっていませんか?	P･G設定モードの設定状態を確認し、P･G設定モード設定を解除してください。（p35参照）
	エラー (E-40) (E-41) (E-42)	“データの入力ができません” “データの出力ができません”	伝送ユニットがWRT2050系列以外のフル2線システムで個別または設定スイッチが繰り返し操作されていませんか?	伝送ユニットに対して入出力中に、フル2線システム側のスイッチ操作はしないでください。（スイッチが操作される可能性がある場合は本器を伝送ユニットに直接接続して入出力してください。）
			本器からフル2線システムへ入出力中に伝送ユニットの電源が切れていませんか?	伝送ユニットの電源を確認し、途中で切れないようにして、再度入出力してください。

※P･G設定モードにしたまま、アドレス設定または確認をした場合、エラー（E20）が表示されます。

エラー表示について

エラー表示		症　状(メッセージ)	点　検	処　置
その他	アラート	“伝送ユニット種別がちがいます”	設定器に設定している伝送ユニットの系列が使用している伝送ユニットと異なっていませんか?	接続している伝送ユニットの系列を設定してください。(p30参照)
		“PCから入力を中止しました” “PCへ出力を中止しました”	データ入出力中にUSBケーブル(市販)が抜けるなど、通信が途絶えていませんか?	USBケーブル(市販)の接続を確認してください。
			アプリで通信が中断される操作はしていませんか?	再度通信を実施してください。

定格・仕様

電　源	フル2線信号と電池ではフル2線信号が優先されます。 単3形アルカリ乾電池(1.5 V)×4本：6 V〔市販〕 ・アドレス設定確認500回以上またはキー入力なしの状態で5時間使用可。 ・アドレス設定には電池が必要です。			
定格入力信号電圧	±24 V	定格信号消費電流	35 mA	
信号配線方法	2線無極性配線方式	信号伝送方法	割り込み式時分割多重伝送方式	
信号周波数	10 kHz ± 1 kHz	光通信・キャリア周波数	36.7 kHz	
誤り検出方法	奇数パリティチェック、サムチェック			
発信音周波数	4.3 kHz	アドレス設定確認時間	約1秒～4秒	
設定機能	パターン・グループ設定、パターンフェード設定、 スイッチ・T/Uのアドレスno.、スイッチの機能・タイマー時間など			
信号形態	スタート信号 / チャンネル信号 / 負荷制御信号 / 監視信号 / エンド信号			
適合伝送ユニット	WR3212系列	フル2線式リモコンレイアウトフリー型伝送ユニット系列 (パターン・グループ制御内容の読み込みのみ)		
	WRT2000K系列	フル2線式リモコン伝送ユニット系列		
	WRT2040系列	フル2線式リモコン伝送ユニット(機能拡張形)系列		
	WRT2050系列	フル2線式リモコン伝送ユニット(分電盤用)(AC100～242 V)		
設定・制御可能パターン数およびグループ数	パターン：個別(調光)256回路+調光16回路(72パターン)(WRT2050・WRT2040の場合)			
	グループ：個別(調光)256回路+調光16回路(127グループ)(WRT2050・WRT2040の場合)			
制御可能負荷回路数	個別(調光)256回路(64ch×4回路)、調光16回路(WRT2050・WRT2040の場合)			

パナソニック エレクトリックワークス株式会社
〒571-8686 大阪府門真市門真1048
電設資材商品ご相談窓口 個人のお客様 0120-878-082 法人のお客様 0120-187-431 FAX 0120-872-460
© Panasonic Electric Works Co., Ltd. 2026
8A4 C45 00002
M0126-10726AB